

令和5年度の学校経営に当たって

1 学校経営の基盤

【学校の創立】

平成27年4月1日、由利本荘市の旧大内中学校と出羽中学校（どちらも旧大内町）が統合され、新しく「由利本荘市立大内中学校」として開校した。今年が開校9年目の年であり、この8年間で創ってきた校風を生かしながら、新たな伝統づくりに挑戦する。

【地域の概要】

- (1) 豊かな山林資源に恵まれ農業の盛んな地域であるが、精密電気部品を扱う誘致工場や建設業を営む地元企業、林業を営む企業もある。農村部あり、商店街あり、新興住宅地ありと、保護者の職業や生活様式も多様である。65歳以上の高齢者の割合が40%を超え、少子高齢化が進んでいる。
- (2) 日本海東北自動車道大内JCT付近には、あきた総合家畜市場や市総合体育館、道の駅などの施設が整えられており、人々の往来や物流が盛んな地域である。
- (3) 保護者や地域住民は、学校運営に対して非常に協力的であり、PTA活動や奉仕作業等にも積極的に参加する。日々の生徒に対する声掛けも積極的であり、地域総ぐるみで生徒を見守り、学校の教育活動を温かく支援している。

【生徒の実態と重点課題】

- (1) 「あいさつ日本一」が生徒・教師・保護者・地域で意識されている。明るいあいさつができ、温和で礼儀正しい生徒が多い。地域の方々より、あいさつについて賞賛していただいている。
- (2) 規範意識が高く、生徒会活動や係活動、清掃などに、周囲と協力しながら実直に取り組む。
- (3) 生徒会活動や行事等の活性化により、生徒相互の関係性が高まり、対話的・協働的な学びが本校の強みである。その一方で、自己肯定感や自己有用感の育成が課題である。
- (4) 学校評価によると、多くの生徒と教師、保護者は生活・学習改善を課題として捉えている。

重点課題

- (1) 生活・学習に対する意欲と改善能力の向上
- (2) 自己肯定感・自己有用感とチャレンジ精神の育成
- (3) 生徒と教師、生徒同士、教師同士の信頼関係の構築
- (4) 社会的自立につながる基礎的・汎用的能力の育成
- (5) 学力の定着と向上
- (6) 生徒理解の深化、組織的対応による課題対応能力の向上（組織目標）

2 学校教育目標と目指す姿

(1) 学校教育目標

あいさつ日本一を目指して
～豊かな人間性とたくましく生き抜く行動力を育む～

(2) 校訓と目指す生徒像（育成したい資質・能力）

- 『自立』 自ら考え自ら判断し、進んで学習や諸活動に取り組む生徒
- ① 生活・学習を振り返り、修正点を見だし、改善に向け行動する【BC】
 - ② その時、その場で、どのような行動が適切か、自分で考えて、決めて、実行する【CD】
 - ③ 意欲と主体性をもって学習や諸活動に取り組み、集団に貢献する【ACD】
- 『協調』 思いやりの心を持ち、協力し合って集団生活の向上に努める生徒
- ④ 自分と同じように他者も大切にし、思いやりの心をもって接する【AB】
 - ⑤ 進んで人や地域社会と交流し、あいさつを交わしたり、自分の考えを広げたり、深めたりしてよりよい学級・学校・地域づくりに貢献しようとする【ABD】
 - ⑥ 互いの立場や考えを尊重し合い、周囲と協力しながら集団生活をよりよいものにしていく【ABC】
- 『躍進』 たくましい心と体を持ち、常に自らを高めるために挑戦する生徒
- ⑦ 自分の健康・安全・体力に関心を持ち、心身ともに健康な生活を築く【B】
 - ⑧ 自分の生き方を考え、なりたい自分や希望進路の実現に向け、何事にも積極的に挑戦する【BCD】
 - ⑨ 自分のよさやもち味を伸ばすことや自分の課題に向き合い克服することに努める【BCD】
- ※「目指す生徒像」文中【A～D】は「基礎的・汎用的能力A～D」を示す
- ◇「基礎的・汎用的能力（社会的自立につながる能力）A～D」◇
- A 人間関係形成・社会形成能力（社会とつながる力） B 自己理解・自己管理能力（自分を見つめ伸ばす力）
C 課題対応能力（課題に向き合い、乗り越える力） D キャリアプランニング能力（未来を創造する力）

(3) 目指す学校像 … 生徒も教師も生き生きと力を発揮できる学校

- ① 明るいあいさつが響き合い、一人一人が尊重され、個性を伸ばせる学校
- ② 目指す生徒像を具現化し、生徒の自立を促す学校
- ③ 地域に開かれ、保護者、地域との協働で生徒の成長を支える学校
- ④ 地域と交流し、地域に学び貢献する学校

(4) 目指す教師像 … 生徒理解を深め、寄り添い、導く教師

- ① 生徒愛に満ち、指導力の向上に努め、生徒と信頼関係を築ける教師
- ② 生徒指導と学習指導の力量を高める教師
- ③ 温もりと優しさ、厳しさの調和がとれている教師
- ④ 生徒をよく理解し、生徒目線に立って寄り添い、支え、よりよい方向に導く教師
- ⑤ 保護者や地域から信頼され、協働して問題解決に当たる教師
- ⑥ 社会人、組織人としての自覚の下、同僚性を高め、全力で指導に当たる教師

3 本年度の経営の重点

(1) 生徒の安全・安心の保障と生活・学習意欲の向上

- ① 危機管理意識の向上と組織的な対応による課題対応力の向上
「生徒一人一人を尊重し、生徒理解を深め、課題解決に向け、共に考え行動できる教師集団」
- ② あいさつ日本一の取組を通じた生徒と教師、生徒同士の信頼関係の構築と「尊重し、支え合う学校風土」の醸成
- ③ 生徒の承認欲求・所属欲求を満たす取組（個の見取と勇気付け、成果の見える化、振り返り等）による自己肯定感・自己有用感の育成
- ④ 全教職員による「居場所づくり」・「絆づくり」・「絆づくりのための活躍できる場づくり」の実践を通じた学級づくり・授業づくり（授業づくりと学級づくりの一体化）
- ⑤ 個や集団に対する「考えさせ、気付きと行動を促す生徒指導」を通じた、生活・学習意欲と軌道修正を重ねる力の向上
- ⑥ 道徳教育・特別活動の活性化を要とした人間性と社会性、行動力の育成

(2) 確かな学力の定着と向上

- ① 個別最適な学びと協働的な学びの一体的充実を核とした「主体的・対話的で深い学び」の実現
- ② 生徒が「分かった、できた、なぜ、もっと学びたい」、「認められた・貢献できた」を実感できる授業づくり
- ③ 「思考力・判断力・表現力」を高める言語活動の充実（考えをもち、考えを交流する場の重視）
- ④ 生徒の「分からない」や「間違い（エラーモデル）」を生かす授業展開
- ⑤ 教科等の見方・考え方を鍛える授業（「問い」の吟味、学び合い・まとめ・振り返りの充実）
「課題設定・見通しー自力解決・学び合いーまとめ・振り返り」
- ⑥ 授業づくりと学級づくりの一体化（生徒指導の三つの機能による個と集団へのアプローチ）
「生徒指導の機能を生かした授業」・「授業における居場所づくり・絆づくり・活躍できる場づくり」

(3) 保護者・地域と共に生徒の成長を支える学校

- ① 積極的な情報発信と開かれた教育課程の推進
- ② 生徒、教師、保護者、地域による学校評価と成果・課題の共有
- ③ コミュニティ・スクール制度を活用した「保護者・地域と一体となって生徒の成長（目指す生徒像の具現化とキャリア発達）を支える学校づくり」
- ④ 地域人材・素材の積極的な活用による「地域に根ざしたキャリア教育」の推進
- ⑤ 地域を舞台にした協働的な学びの充実による体験知の獲得と、持続可能な社会の創り手となる資質・能力の育成
- ⑥ 保護者・地域との協働による課題対応